



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	36,327.95	203.72	0.56	1.42	18.69	30,606.48
NASDAQ	15,971.59	31.28	0.20	3.05	23.92	12,888.28
日経225	29,611.57	-182.80	-0.61	2.49	7.90	27,444.17
上海総合	3,491.57	-35.30	-1.00	-1.57	0.53	3,473.07
滬深300 (CSI300)	4,842.35	-26.40	-0.54	-1.35	-7.08	5,211.29
ハンセン	24,870.51	-354.68	-1.41	-2.00	-8.67	27,231.13
中国企業	8,820.83	-132.29	-1.48	-1.57	-17.86	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.0%安と続落、上海総合指数は1.6%安

香港市場ではハンセン指数が週間で2.0%安と続落した。新型コロナの感染拡大を受けて中国の景気減速への警戒感がくすぶるなか、前週から3日まで7営業日続落と軟調に推移。4日はFRBのハト派姿勢を好感して反発したが、週末5日に反落して節目の25000ポイントを割り込んだ。本土市場では上海総合指数が週間で1.6%安と続落。新型コロナの感染拡大への警戒感がくすぶるなか、週初から3日続落と軟調に推移。3日には節目の3500ポイントを割り込んで約2カ月半ぶり安値をつけた。

今週の展望:香港市場は軟調な展開か、6中全会開催で様子見ムード高まる公算

香港市場は軟調な展開か。早期利上げ観測の後退などを背景にNY市場が過去最高値を更新しているが、今週は中国共産党の第19期中央委員会第6回全体会議(6中全会)の開催や米中の物価指標の発表、独身の日セールなど多くのイベントが予定されている。6中全会では「歴史決議」が採択される予定で様子見ムードが高まる公算が大きい。一方、本土市場は底堅い展開か。先週は上海総合指数が節目の3500ポイントを割り込んだが、この水準では買い戻しも入りやすく、節目水準を意識した値動きとなりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 李寧(02331)	93.00	7.51
2 舜宇光学科技(02382)	221.20	5.23
3 BYD(01211)	311.00	4.86
4 安踏体育用品(02020)	125.10	2.88
5 美团(03690)	276.80	2.67
6 香港鐵路(00066)	42.95	1.30
7 ファイ・モバイル(00941)	48.70	0.93
8 恒基兆業地産(00012)	32.80	0.61
9 万洲国際(00288)	5.47	0.18
10 新鴻基地産(00016)	103.30	-0.19

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 薬明生物技術(02269)	101.90	-13.94
2 信義光能(00968)	14.06	-13.64
3 龍湖集団(00960)	33.75	-10.71
4 碧桂園服務(06098)	55.05	-9.01
5 信義ガラス(00868)	20.05	-8.66
6 ヘトロファイナ(00857)	3.44	-8.51
7 中国中信(00267)	7.18	-7.95
8 阿里健康(00241)	9.07	-7.73
9 碧桂園(02007)	6.85	-6.29
10 華潤置地(01109)	28.45	-6.11

▼今週の主なイベント

- 11月8日(月)
- 【中国】6中全会(～11日)
- 11月10日(水)
- 【中国】物価統計(10月)
- 11月11日(木)
- 【中国】独身の日セール最終日

▼今週の期待材料

- ◆ダウ平均など主要3指数がそろって過去最高値を更新とNY市場の好調続く、香港市場にとっても追い風に
- ◆FOMCでテーパリング開始決定もFRB議長は利上げを急がない方針、早期利上げ観測後退で市場に安心感
- ◆11日に「独身の日」ネットセールの最終日、中国の消費活性化への期待が高まる可能性も

▼今週の懸念材料

- ◆8-11日開催の中国共産党6中全会で「歴史決議」を採択へ、採択を前に様子見ムードが広がる可能性も
- ◆中国恒大集団の債務問題で今週も8日に約8200万米ドルの利払い期限、債務不履行懸念がくすぶる公算
- ◆10日に中国国家统计局が物価統計を発表、PPI上昇加速なら企業収益の先行きに警戒感が広がる可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国金茂(00817): 10月の不動産販売額が9%増加、販売面積は13%増
- ☆ 龍源電力(00916): 10月の発電量が13%増加、主力の風力発電は11%増
- ☆ SMIC(00981): 11日に7-9月期決算を発表、市場予想は3%増益
- ☆ 小米集団(01810): 「独身の日」の販売額が5日までに100億元を突破
- ☆ 万科企業(02202): 不動産管理子会社の分離上場を計画、5日の取締役会で決議
- ☆ アリババ集団(09988): 独身の日セールが11日に最終日、今年は23日間の長期戦
- ★ 越秀地産(00123): 10月の不動産販売額が28%減少、1-10月は11%増
- ★ テンセント(00700): 10日に7-9月期決算を発表、市場予想は21%減益
- ★ 瑞声科技(02018): 11日に7-9月期決算を発表、市場予想は56%減益
- ★ 新疆金風科技(02208): 中国三峡新能源が保有株を売却、持ち株比率が1.2%低下

レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。